

■ 組織活性化3カ年計画1年目の状況 幹事長 上野 邦治 (高15回) ■

30代、40代の総会参加者が 100人を超えた～佐久間懇談会の効果！

「校友会支部の組織を活性化するためには若手、中年層への参加呼びかけを強化しなければならない。せっかくの立派な組織が老齢化してしまう」と、佐久間支部長が危機感を訴えられて、去年、組織活性化3カ年計画をスタートさせました。①40代の各年次10人以上の参加②総会の参加者500人というのが、われわれ組織活性化プロジェクトチームに与えられた課題でした。6月19日の第45回総会は、その1年目の結果です。

今総会の参加者を分析しますと、記念総会とあって過去最高の参加者数となり、どの世代層も押しなべて増えていますが、特に30代、40代の参加者が115人と、100人台に乗りました。去年のほぼ2倍です。

40代は54人から83人に増えました。30代は5人から32人と一挙に6倍となりました。40代の各学年で、10人を達成した年次は、30回生、32回生と39回生です。なんと39回生は、去年まで参加者がゼロだったのが一挙に12人、受付時間に間に合わなかった人も含めると、15人だそうです。

佐久間支部長と若手・中堅世代との懇談会は、29回生から始まり、すでに15の年次を終えました。そこで校友会東京支部の存在や活動を知り、先輩・後輩の交友の輪が広がることの楽しさを知ったことが、総会への積極参加につながったのだと思います。

記念大会を終えた来年以降の総会でどれだけ参加してくれるか、気になるところで

すが、各年次の評議員をはじめとする担当者、一層の呼びかけを期待したいと思います。また、佐久間支部長と若手・中堅の年次別懇談会は今後も引き続き続けていただく予定です。そして支部活性化3カ年計画の課題を、あと2年でぜひとも達成したいと念じています。

ちなみに、今年は20代の大学生・校友が10人も参加しています。現役の学生が就職しても、この活動に参加し続けてくれば、もう何も心配がありませんが、そのためにも何より大事なものは、魅力ある校友会活動ですね。ぜひご協力ください。

支部活動の活性化で魅力ある校友会に！

校友間のネットワークづくり元年として、1月には校友メールマガジンが立ち上がりました。定期的な校友会情報、ふるさと情報になっています。母校の活躍を知ることもし身近になりました。

こうした校友会活動を続けていけば、先輩・後輩、異業種間の垣根を越えた校友ネットワークの輪が広がり、いろいろなサークル、フォーラムなどのネットに広がっていくことが期待されます。そのための組織の活性化・若返りであるという気持ちで、今後も校友の一人一人が校友会活動に理解を示し参加していただければ幸いです。

私と中堅スタッフで作っています活性化プロジェクトチームも、引き続き皆さんの意見を伺いながら、いろいろなアイデアを検討していきたいと思っています。よろしくお願いします。